

新居小学校 運動場整備工事

図面リスト

G-1	特記仕様書1	G-11	部分詳細図1
G-2	特記仕様書2	G-12	部分詳細図2
G-3	特記仕様書3	G-13	部分詳細図3
G-4	構造特記仕様書	G-14	擁壁見掛図1
G-5	配置図	G-15	擁壁見掛図2
G-6	仮設計画書	G-16	排水工事図
G-7	解体撤去図	G-17	新設遊具リスト・姿図1
G-8	工事範囲図	G-18	新設遊具リスト・姿図2
G-9	平面図1	G-19	電気設備工事図
G-10	平面図2		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																															
12	吸音材	(表 19.7.1) 種類 J I S の記号 厚さ (mm) ・ロックウール吸音ボード 1号 RW B ※25 ・グラスウール吸音ボード 2号 32K GW B ※25/50 ・グラスウール吸音ボード 2号 24K GW B ※25	20	5 階段滑り止め (20.2.6) 材質 ※ステンレス SUS304 ・アルミ製 形状 ビニルタイヤ入り 両端フラットエンド ・無 ※有 (・スチールSUS304 ※ビニル製) 幅 (mm) ※約35 取付工法 ※接着工法 埋込み工法 ※集材クリアラッカー仕上げ (市販品 径 約 34mm) ・ビニル製ハンドルレール (幅 約 50mm) 図示 ○ 外周用: アルミ被膜手すり (20.2.8)	21	旗竿 材質 ※アルミニウム合金製 形式 ※テーパー型 ・同一断面型 地上高さ (m) ・6 ・8 ・9 ○10 ・12 操作方法 ※ハンドル式 ○ロープ式 固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ○バンド式	6	路盤材料 ※再生クラッシャーラン (RC-40) (22.3.3) ・クラッシャー (C-40) 又はクラッシャーランラグ (CS-40) 透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの (22.4.2) (表 22.4.1)	7	アスファルト舗装 舗装の種類 車道部の基層 カラー舗装の種類 ※アスファルト舗装 ※無し 有り ※顔料混入加熱 77777 混合物 ・カラー舗装 ※無し ・有り ・																																																																																																																																
		13									壁紙張り (19.8.2) 記号 壁紙の種類 防火種別 施工箇所 品質等 紙 織物 ビニル 化学繊維無機質 ・加2A ・ ・ ・ ・ ・ ※不燃・準不燃・難燃 (示(一般)) A A級 ・加2B ・ ・ ・ ・ ・ ※不燃・準不燃・難燃 (示(和室)) A A級 ・加2C ・ ・ ・ ・ ・ ※不燃・準不燃・難燃 ・加2D ・ ・ ・ ・ ・ ※不燃・準不燃・難燃 ・加2E ・ ・ ・ ・ ・ ※不燃・準不燃・難燃	7 黒板及びホワイトボード (20.2.8) 種類 寸法 (mm) 色彩 備考 ・黒板 ※焼付け ※緑 ・黒 ※平面・曲面・スクリーン付き引分け ・ホワイト ※ほうろう 図示 ※白 ・ ※平面・曲面・スクリーン付き引分け ボード	28	フェンス ・ビニル被覆 スチールパイプ ・ 樹脂塗装 プラスチック 図示	8	表示標識 (サイン) 衝突防止表示 ※図示 (市販品 ※ステンレス製 径約30mm ・アルミ製) ・無し (20.2.10) 誘導標識、非常用出入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図に準ずる。	29	屋外掲示板 照明器具 ※有り ・無し 枠の材質 スチール製 施錠 ※有り ・無し	9	透水性舗装 シールコート ※行わない 行う (施工範囲) (22.4.5) アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない 行う (22.4.6)																																																																																																																						
																					14	断熱材 (19.9.2~3) 種類 施工箇所 厚さ (mm) 品質等 ・押出法 ※2種b ・一般部 (屋根スラブ下) ※25 ・トリプル 704 ※3種b ・接合部分 ※25 特定704を使用しないもの 保温板 (2層付付) ※30 ・木織セメント板 一般部 ※25 ・特定704を使用しないもの 接合部分 ※50 ・ ※準不燃 メーカー 性能等の確認できる資料を監督職員に提出する。 ・硬質ウレタン断熱材 (現場発泡断熱材) ※断熱材補修部分 特定704を使用しないもの 密度 294kg/m ³ ・一般部 ※15 難燃性 ※3級 2級 ・断熱材 密度 294kg/m ³ 以上 屋根スラブ下 ※35 兼用型材 ・木質系 ※壁 (図示の範囲) ※40以上 断熱抵抗 厚さ×熱伝導率 =0.676 以上 (m ² ・k/w) ・グラスウール ・外壁、小屋裏 100) 24K ・内壁 (100 24K	10	キャスタブル耐火物 工法 ※こて押さえ 最高使用温度 ※400℃ メーカー 性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。	31	鉛板 ・無し 有り 仕様 (図示)	11	ブラインド (20.2.12) 形状 種類 スラットの材質 スラットの幅 (mm) ※構造 ※ギア式 ・コード式 ※アルミニウム合金製 ※25 ・操作方式 ・縦型 ・1本操作コード ・アルミスラット ・80 ・2本操作コード ・クロススラット ・100 防炎性能 ※有り (20.2.14)	32	定礎 ・定礎石 ※花こう岩 形り込み文字 大きさ (mm) 400 ×300 ×30 ・定礎箱 ※ステンレス製 鋼板製 大きさ (mm) 350 ×270 ×70	12	カーテン ロールスクリーン (20.2.14) 施工箇所 カーテン形式 装置 名称品質、寸法等 片引 引分 電動 ひも 手引 ・	33	避難器具 金属製避難はしご及び緩降機は国家検定品とし、その他の避難器具は消防庁長官基準適合品とする。	13	カーテンレール 材質 表面仕上げ 性能 幅 (mm) 備考 ※アルミニウム製 ※焼付塗装品 ※200 難燃は縫付とし、 ・アルマイト処理品 準不燃品 ※100 メーカーの標準品 硬質塩化ビニル ※塗装品 ※300 とする。 ・木目調 ※100	34	防煙垂れ壁 ・固定式 ※アルミフレーム 高さ (mm) ※500 ガラス (・線入りガラス ※網入りガラス 6.8) 可動式 ※法令に適合した製品、施工とする。 ・垂直降下式 (・可動レール ※固定レール) 高さ (mm) ※500 800 材質 ※不燃布 (不燃認定品) ・回転降下式 (※天井同材質 ・鋼板又は鉄製) 高さ (mm) ※500 ・800 降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込み型) ・復帰方式 (・手動巻上げハンドル 電動式) ・まぐさ・座板・レールの材質 (鋼製塗装仕上げ ・77777製 ・スチール製)	14	カーテンボックス ホルムアルデヒド等 発散材 (19.4.2) (19.5.2) (19.7.2) (19.8.2) (19.9.2) ホルムアルデヒド放散量の等級 ※F☆☆☆☆	35	消火器ボックス 市販品 (・埋込み型 露出型) (・厚無し 扉付き) 材質 鋼板製焼付塗装 (・標準色 指定色) ステンレス製 ※消防法などに適合した形状・設置場所とする。	15	浴室天井材 市販品 材質 表面仕上げ 性能 幅 (mm) 備考 ※アルミニウム製 ※焼付塗装品 ※200 難燃は縫付とし、 ・アルマイト処理品 準不燃品 ※100 メーカーの標準品 硬質塩化ビニル ※塗装品 ※300 とする。 ・木目調 ※100	16	ホルムアルデヒド等 発散材 ホルムアルデヒド放散量の等級 ※F☆☆☆☆ (19.4.2) (19.5.2) (19.7.2) (19.8.2) (19.9.2)	17	天井点検口 材質 アルミニウム製 (・鋼線タイプ ※目地タイプ) サイズ 600 ×600 450 ×450	18	床下点検口 材質 アルミニウム製 (受け枠 アルミ製 ・ステンレス製) サイズ 600 ×600 450 ×450 仕上げ材 ※床仕上げ材と同材 耐火性能 有 無	19	かざり 市販品 形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用	20	くつふきマット 市販品 材質 ・塩化ビニル製 (コイル状 スチール製受枠) ・硬質77777製 (受枠とも) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・ステンレス製 (受枠とも)	21	排水工 21 排水管 (21.2.1) (表 21.2.1) (21.3.3) 配水管用材料 材 種 管の種類 管形状 (接合方法) ※遠心力コンクリート管 ※外圧管 (※1種・2種) B型 (ゴム接合) ①硬質塩化ビニル管 ※V P ・ V U ・鋼管 ・白管 車道部の排水管の敷設 ※図示 (21.3.1) (21.3.3) ・砂基礎 (地床厚さ20cm 以上 材料 山砂の類)	22	22 屋内掲示板 材の種類 寸法 (L×mm) 適用内容 備考 ・流し台 ・1200 ・1500 トラップ付き ※市販品 ・コンロ台 ・600 ・1500 「ハカチ」 ※有り ※市販品 ・つり戸棚 ・1200 ・900 H=500 ※市販品 ・レンジフード ※600 ・ ※市販品 ・水切り棚 ※1200 ・ スチール製 ※1段式 ※市販品 吊り戸棚の耐火性 有り 無し	23	洗面カウンター 材質 ・メラミン樹脂化粧板張り (芯材: 集材材) ・人工大理石 奥行 (mm) ・約400 約600 ・350 仕様 ・扉及び中棚付 ・オープン	24	誘導用及び 注意喚起用床材 仕様はJIS 19251による ・塩化ビニル製 ・磁器又はせっき質タイル (※300) ・ステンレス鋼打 ・レジンコンクリート製 屋外 ・レジンコンクリート製 ・磁器又はせっき質タイル (※300) ・ステンレス鋼打 石材 (・花こう岩 ・人造石)	25	敷地境界石標 ・花こう岩類 (文字記号入り) ※市販品 (コンクリートブロック製)	25	25 敷地境界石標 ・花こう岩類 (文字記号入り) ※市販品 (コンクリートブロック製)	26	26 旗竿 材質 ※アルミニウム合金製 形式 ※テーパー型 ・同一断面型 地上高さ (m) ・6 ・8 ・9 ○10 ・12 操作方法 ※ハンドル式 ○ロープ式 固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ○バンド式	27	27 旗竿受け金物 市販品 材質 ※ステンレスSUS304	28	フェンス ・ビニル被覆 スチールパイプ ・ 樹脂塗装 プラスチック 図示	29	屋外掲示板 照明器具 ※有り ・無し 枠の材質 スチール製 施錠 ※有り ・無し	30	車止め支柱 ※ステンレス製 (上下式鎖内蔵型) 径114.3mm t=2.5mm H=G L+700mm ※スプリング付き スプリング無し 埋込み式 ・鋼鉄製 () アルミ鋳物製 () その他	31	鉛板 ・無し 有り 仕様 (図示)	32	定礎 ・定礎石 ※花こう岩 形り込み文字 大きさ (mm) 400 ×300 ×30 ・定礎箱 ※ステンレス製 鋼板製 大きさ (mm) 350 ×270 ×70	33	避難器具 金属製避難はしご及び緩降機は国家検定品とし、その他の避難器具は消防庁長官基準適合品とする。	34	防煙垂れ壁 ・固定式 ※アルミフレーム 高さ (mm) ※500 ガラス (・線入りガラス ※網入りガラス 6.8) 可動式 ※法令に適合した製品、施工とする。 ・垂直降下式 (・可動レール ※固定レール) 高さ (mm) ※500 800 材質 ※不燃布 (不燃認定品) ・回転降下式 (※天井同材質 ・鋼板又は鉄製) 高さ (mm) ※500 ・800 降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込み型) ・復帰方式 (・手動巻上げハンドル 電動式) ・まぐさ・座板・レールの材質 (鋼製塗装仕上げ ・77777製 ・スチール製)	35	消火器ボックス 市販品 (・埋込み型 露出型) (・厚無し 扉付き) 材質 鋼板製焼付塗装 (・標準色 指定色) ステンレス製 ※消防法などに適合した形状・設置場所とする。	37	自転車置場 ・止め金物式 ・機械2段式	38	郵便受箱 ・ステンレス製既製品 (前入後出 370 ×455 ×150)	39	収納、収納家具 (12.2.2) (19.7.2) 材質、形状、寸法 ※図示 ・ホルムアルデヒドの放散量の等級 ※F☆☆☆☆ ・転倒防止金具設置すること。(耐震ラッチ等、地震対策を施すものとする。)	40	エキスパンション ・ジョイント金物	41	ホルムアルデヒド等 発散材 ホルムアルデヒド放散量の等級 ※F☆☆☆☆	21	21 排水工 21 排水管 (21.2.1) (表 21.2.1) (21.3.3) 配水管用材料 材 種 管の種類 管形状 (接合方法) ※遠心力コンクリート管 ※外圧管 (※1種・2種) B型 (ゴム接合) ①硬質塩化ビニル管 ※V P ・ V U ・鋼管 ・白管 車道部の排水管の敷設 ※図示 (21.3.1) (21.3.3) ・砂基礎 (地床厚さ20cm 以上 材料 山砂の類)	22	22 屋内掲示板 材の種類 寸法 (L×mm) 適用内容 備考 ・流し台 ・1200 ・1500 トラップ付き ※市販品 ・コンロ台 ・600 ・1500 「ハカチ」 ※有り ※市販品 ・つり戸棚 ・1200 ・900 H=500 ※市販品 ・レンジフード ※600 ・ ※市販品 ・水切り棚 ※1200 ・ スチール製 ※1段式 ※市販品 吊り戸棚の耐火性 有り 無し	23	23 洗面カウンター 材質 ・メラミン樹脂化粧板張り (芯材: 集材材) ・人工大理石 奥行 (mm) ・約400 約600 ・350 仕様 ・扉及び中棚付 ・オープン	24	24 誘導用及び 注意喚起用床材 仕様はJIS 19251による ・塩化ビニル製 ・磁器又はせっき質タイル (※300) ・ステンレス鋼打 ・レジンコンクリート製 屋外 ・レジンコンクリート製 ・磁器又はせっき質タイル (※300) ・ステンレス鋼打 石材 (・花こう岩 ・人造石)	25	25 敷地境界石標 ・花こう岩類 (文字記号入り) ※市販品 (コンクリートブロック製)	26	26 旗竿 材質 ※アルミニウム合金製 形式 ※テーパー型 ・同一断面型 地上高さ (m) ・6 ・8 ・9 ○10 ・12 操作方法 ※ハンドル式 ○ロープ式 固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ○バンド式	27	27 旗竿受け金物 市販品 材質 ※ステンレスSUS304	28	フェンス ・ビニル被覆 スチールパイプ ・ 樹脂塗装 プラスチック 図示	29	屋外掲示板 照明器具 ※有り ・無し 枠の材質 スチール製 施錠 ※有り ・無し	30	車止め支柱 ※ステンレス製 (上下式鎖内蔵型) 径114.3mm t=2.5mm H=G L+700mm ※スプリング付き スプリング無し 埋込み式 ・鋼鉄製 () アルミ鋳物製 () その他	31	鉛板 ・無し 有り 仕様 (図示)	32	定礎 ・定礎石 ※花こう岩 形り込み文字 大きさ (mm) 400 ×300 ×30 ・定礎箱 ※ステンレス製 鋼板製 大きさ (mm) 350 ×270 ×70	33	避難器具 金属製避難はしご及び緩降機は国家検定品とし、その他の避難器具は消防庁長官基準適合品とする。	34	防煙垂れ壁 ・固定式 ※アルミフレーム 高さ (mm) ※500 ガラス (・線入りガラス ※網入りガラス 6.8) 可動式 ※法令に適合した製品、施工とする。 ・垂直降下式 (・可動レール ※固定レール) 高さ (mm) ※500 800 材質 ※不燃布 (不燃認定品) ・回転降下式 (※天井同材質 ・鋼板又は鉄製) 高さ (mm) ※500 ・800 降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込み型) ・復帰方式 (・手動巻上げハンドル 電動式) ・まぐさ・座板・レールの材質 (鋼製塗装仕上げ ・77777製 ・スチール製)	35	消火器ボックス 市販品 (・埋込み型 露出型) (・厚無し 扉付き) 材質 鋼板製焼付塗装 (・標準色 指定色) ステンレス製 ※消防法などに適合した形状・設置場所とする。	37	自転車置場 ・止め金物式 ・機械2段式	38	郵便受箱 ・ステンレス製既製品 (前入後出 370 ×455 ×150)	39	収納、収納家具 (12.2.2) (19.7.2) 材質、形状、寸法 ※図示 ・ホルムアルデヒドの放散量の等級 ※F☆☆☆☆ ・転倒防止金具設置すること。(耐震ラッチ等、地震対策を施すものとする。)	40	エキスパンション ・ジョイント金物	41	ホルムアルデヒド等 発散材 ホルムアルデヒド放散量の等級 ※F☆☆☆☆	23	23 植栽工 1 樹木の植栽設置準備 (23.2.2~3) (表 23.2.1~2) 芝及び地被類 適用 有効土層の厚さ (cm) 工法 整備範囲 ※行う ・行わない ・20 ・100 ※B種 ・植栽範囲 図示 樹木 (23.2.2~3) (表 23.2.1~2) 樹木の樹高 有効土層の厚さ (cm) 工法 整備範囲 ・12m 以上 ※100 ・120 150 ※A種 ・芽振りの範囲 ・7 超~12m 未満 ※80 ・100 ・B種 ただし、低木は植栽範囲 ・3 超~7m 以下 ※60 ・80 ・C種 図示 ・3 以下 ※50 ・60 ・D種 工法D種以外の工法で、現地地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現地地盤より高い場合は、計画地盤高まで補込み用土で盛土を行う。 ・現場発生の良質土 ・客土 (※畑土 ・黒土) (23.2.3) ※適用する (バーク堆肥 (50kg/m ²)) (23.2.3~4) 施工箇所 ※植栽範囲 図示 2 支柱材 ※杉の焼丸太 (間伐材) 竹 ファイヤー (防錆処理) ・鋼製 (23.3.2) 3 幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2) 4 芝張り種類 種類 ・こらうり芝 ・野芝 (23.4.2) 客土 行わない 行う (・畑土 黒土 ・山砂) 5 屋上緑化 屋上緑化システム ※各管理型 質量の上限値 () kg かん水装置 設ける (工事区分は図示) 透水路、保水層及び排水層等 保水層及び排水層の鉛直方向の排水性能: 240 L/m ² ・h 以上 耐荷重性能 省管理型: 3×10 ⁴ N/m ² 以上の載荷重で異常のないこと。 耐根層の材料 合成樹脂耐根シート (厚さ3mm以上) 又は抗根性剤 (耐根性能の実績を有すること) 補込用土 製造所の仕様による 植栽の種類 ※製造所の指定するもの セダム ・管理型

※第16章~第19章は該当無

TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
新居小学校 運動場整備工事								G-3
ORIGINAL NO					特記仕様書3	2019.08		

構造特記仕様書

- §1 一般事項
- 選択項目は、●印を適用し、●が無い場合は、*印を適用する。
●印が複数ある場合は、共に適用する。
- 1-1 使用材料は原則としてJIS規格品、又は大臣認定品とする。
- 1-2 設計図書は優先順位は下記による。
- 本特記仕様書
 - 設計図
 - 標準図
 - 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 鉄骨工作標準図
 - 鉄筋鉄骨コンクリート構造標準図 高強度せん断補強筋施工仕様書
 - 鉄筋コンクリート壁式標準配筋図
 - 仕様書(● 公共建築協会 * 日本建築家協会)
 - 日本建築学会標準仕様書, JASS5, JASS6
- 1-3 各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承諾を得る。
- 1-4 構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。
第三者機関による検査・試験費用は工事費に(含む 含まない)
- 1-5 設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承諾を得る。
- 1-6 梁貫通位置、径、及び箇所数は(意匠図 構造図 * 設備図)による。
- 1-7 その他

- §2 構造計算ルート
- 2-1
- | 方向 | 構造計算ルート |
|----|----------------------|
| X | ○ R1 ○ R2 ○ R3 ○ その他 |
| Y | ○ R1 ○ R2 ○ R3 ○ その他 |
- 2-2 鉄筋の継手及び定着
- 構造計算ルート別による主筋等の継手重ね長さとして柱に取り付く梁の定着長さ
- 建築基準法施行令第73条(既令第73条)による仕様規定
 - 日本建築学会 JASS5(2009), 鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説
 - 日本建築学会 RC規準2010
- X-Y両方向共ルート3及び限界耐力計算の場合は、政令第73条の仕様規定によらずJASS5(2009)鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC規準2010とすることができる。

- §3 仮設工事、土工
- 3-1 山留め、根切り
- 3-2 埋戻し土、盛土、残土処分
- 埋戻し土 * 根切り土の中の良土 搬入良土
盛土 * 根切り土の中の良土 搬入良土
残土処分 場内均し * 場外搬出処分(* 自由 ○ 指定場所)

- §4 地業工事
- 4-1 基礎及びスラブ下地業 (単位mm)
- | 場 所 | 捨てコンクリート厚さ | ※(1) | | |
|-------|------------|-------|-----|-----|
| | | A: 砕石 | 厚 さ | |
| 基礎 | 独立 | *50 | 90 | 100 |
| | 布 帀 | *50 | 90 | 100 |
| 地中梁 | 布 帀 | *50 | 90 | 100 |
| | 構造スラブ | *50 | 90 | 100 |
| 土間スラブ | 屋内 | *50 | 90 | 100 |
| | 屋外 | *50 | 90 | 100 |

- 注 (1) アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。
(2) 端部aは100以上とする。
- 4-2 設計地耐力 長期 10 kN/m² 短期 kN/m² 終局 kN/m²
地耐力載荷試験 ○ 行う (箇所、長期設計耐力の3倍を確認する) * 行わない
- 4-3 地盤改良(表層改良)
- 無筋コンクリート地業 締固め工法 ソイルセメント杭
● セメント系固化材攪拌 圧密排水工法
[○ 載荷試験 一輪圧縮試験] ○ 行う (箇所) * 行わない

- 4-4 既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭 ※詳細は構造図による
- 杭種
 - PHC杭 ● A種 ● B種 ● C種 ○
 - ST杭 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○
 - PRC杭 ○ I種 ○ II種 ○ III種 ○ IV種
 - その他 ○
 - 工法
 - 打撃工法 ○ 油圧ハンマー ○ ディーゼルハンマー
 - 埋込み工法 ○ プレポーリングセメントミルク注入工法
 - プレポーリング拡大根固め工法
 - 杭周固定液 * あり ○ なし
 - 中掘拡大根固め工法(認定工法)

3) 杭径、設計耐力、本数表

杭 径(拡底部)mm	長期 kN	短期 kN	終局 kN	本数	備 考
()					
()					
()					
()					

- 4) 杭の構成は設計図による。
- 5) 杭頭補強
 - かご筋 ○ スタッド溶接 ○ 杭外周溶接
- 4-5 場所打鉄筋コンクリート杭、場所打鋼管コンクリート杭
- 工法
 - アースドリル工法 ○ 拡底アースドリル工法
 - リバース工法 ○ オールケーシング工法(○ ペント工法 ○)
 - BH工法 ○
 - 杭径、設計耐力、本数表(拡底部は施工径を示す)
- | 杭 径(拡底部)mm | 管厚mm | 長期 kN | 短期 kN | 終局 kN | 本数 | 備 考 |
|------------|------|-------|-------|-------|----|-----|
| () | | | | | | |
| () | | | | | | |
| () | | | | | | |
| () | | | | | | |

- 3) 杭先端深さ GL- m
- 4) 孔壁測定(2方向)
* 行う (○ 全数 ○ %) ○ 行わない
- 5) 使用材料 コンクリートの仕様は設計図による。特記のない場合JASS5水中コンクリートによる。
コンクリート Fc (○ 普通ポルトランドセメント○ 高炉セメントB種)
鉄筋 ○ D 以下 SD295A ○ D 以上 SD345
○ D 以上 SD390
鋼管(リブ付) ○ SKK400 ○ SKK490
- 4-6 杭打地業共通事項
- [○ 杭長決定用先行杭 ○ 試験掘] ○ 行う (協議) ○ 行わない
 - 載荷試験 ○ 行う (箇所、長期設計耐力の3倍を確認する) * 行わない
 - SL塗布 ○ 行う * 行わない

- §5 鉄筋工事
- 5-1 材種
- | 種 類 | 径 | 継 手 |
|-----------|---------------------------------------|---------------------|
| ●SD295A | D16以下 | *重ね継手 スパイラル 工場溶接 |
| SD345 | D19以上 | 重ね継手 *溶接継手 ○機械継手(級) |
| SD390 | D29以上 | *溶接継手 機械継手(級) |
| SD490 | D 以上 | *溶接継手 機械継手(級) |
| 溶接金網 | | 重ね継手 |
| 高強度せん断補強筋 | ○ 1275級 P
○ 785級 K
○ 685級 UD UR | ○重ね継手 ○スパイラル ○工場溶接 |
- 溶接継手 * ガス圧接 ○ 突き合せ溶接 (D16以下は重ねアーク溶接でも可)
溶接部の検査(第三者機関による)
- 抜取り検査
 - 引張り試験(JISZ3120)
1検査ロットにつき * 3本 ○
 - 超音波探傷試験(JISZ3062) ○ 熱間押抜き試験
1検査ロットにつき ○ 30箇所 ○
- 不合格となった溶接部は切り取って再溶接を行う。また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。
1検査ロットは1組の作業班が1日に施工した溶接箇所の数量で200箇所以内
- 5-3 梁貫通補強
補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。
- 5-4 その他
基礎梁、基礎小梁の継手及び定着は原則として○①一般 ○②地反力を受けるとする。
鉄筋の組立は適切な位置にスペーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。
コンクリートを2回打する部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。
コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。

- §6 コンクリート工事
- 6-1 設計基準強度 (N/mm²)
- セメント * 普通ポルトランドセメントJISR5210 ○ 高炉セメントB種 低熱ポルトランドセメントJISR5210 ○
 - 粗骨材 ○ 砂利 * 砕石 高炉スラグ骨材 人工軽量骨材 再生骨材
最大径(mm) * 20 ○ 25 40
 - 躯体 (使用区分は設計図の輪組図に示す)
 - 普通コンクリート
 - Fc18 OFc21 ●Fc24 Fc27 Fc30 Fc Fc
 - 軽量コンクリート (*1種 2種 気乾単位容積質量 *18.5)
L Fc18 L Fc21 L Fc24 L Fc27 L Fc30 L Fc

- 4) 土間コンクリート ● Fc21 (ただし柱、壁等と同時に打込む場合は躯体の強度とする)
- 5) 捨てコンクリート ● Fc18
- 6) デッキコンクリート Fc18
- 7) 防水押さえコンクリート Fc L Fc (気乾単位容積質量 *18.5)
- 6-2 混和材 * AE減水剤 ○ 高性能AE減水剤 躯体防水材料 膨脹材
- 6-3
- | 箇 所 | 基礎、躯体 | | | 備 考 |
|----------------------------|-------|--|--|-------|
| スラブ c m | 18 | | | |
| 水セメント比 % | | | | 60以下 |
| 単位水量 k g/m ³ | | | | 185以下 |
| 単位セメント量 k g/m ³ | | | | 270以上 |

- 6-4 試験 (躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う)
- 骨材 [●塩含有量 ○アルカリシリカ反応性] * 行う ○ 行わない
 - フレッシュコンクリート [●スランプ ○空気量] * 行う ○ 行わない
 - 躯体のせき板取り外し時期決定圧縮試験 * 行う ○ 行わない
 - コンクリートコア抜き取り圧縮試験 行う * 行わない
 - マスコンクリートのひび割れ照査(温度応力解析) 行う * 行わない
- 6-5 調査(補正値は工事費に含む)
計画供用期間の級()は耐久設計基準強度 Fd
短期(18) * 標準(24) 長期(30) 超長期(36)
調査管理強度 Fm=Max(Fc, Fd)+S S=3~6
材齢28日の調査強度Fは下記の両式を満足するものとする。
F≧Fm+1.73σ F≧0.85Fm+3σ
- 6-6 せき板及び支柱の在置期間(普通ポルトランドセメントの場合)
- | | 基礎、梁側、柱、壁 | スラブ下 | 梁 下 |
|-----------|--------------------|------------------------------|------|
| コンクリート | 15℃以上 3日 | 17日 | |
| の材齢による | 5℃以上 5日 | 25日 | 28日 |
| 場合 | 0℃以上 8日 | 28日 | |
| 圧縮試験による場合 | 5N/mm ² | 0.85Fcまたは12N/mm ² | 設計強度 |

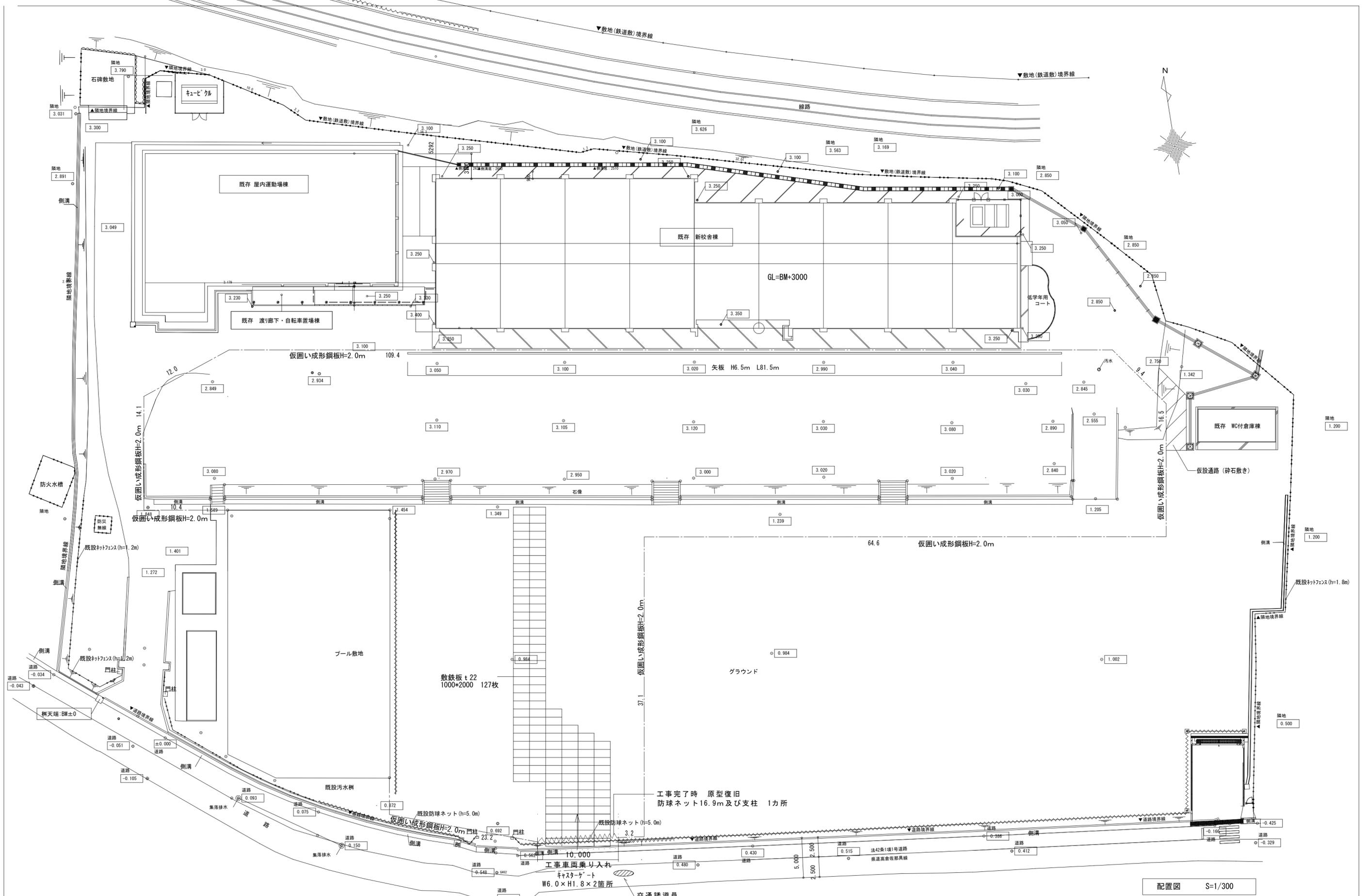
- 6-7 住宅性能表示
劣化等級 等級2 等級3
劣化等級2又は3を指定する場合は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)2-7かぶり厚さ
が変わる場合があるので注意すること。
- 6-8 Fc60を超える高強度コンクリートは別記特記仕様書による。

- §7 鉄骨工事
- 7-1 材種及び使用箇所
- | 規 格 名 称 | 鋼 材 名 | 柱 | 通 し
ダイヤ | 内ダイヤ | 大梁 | ブレス | 小梁、他 |
|-----------|-------------------|---|------------|------|----|-----|------|
| 一般構造用圧延鋼材 | ○SS400 ○ | | | | | | ○ |
| 溶接構造用圧延鋼材 | ○SM400A ○SM490A | | | | | | |
| 建築構造用圧延鋼材 | ○SN400A ○ | | | | | | |
| | ○SN400B ○SN490B | | | | | | |
| 一般構造用角形鋼管 | ○SN400C ○SN490C | | | | | | |
| | ○STKR400 ○STKR490 | | | | | | |
| 冷間成形角形鋼管 | ○BCR295 ○ | | | | | | |
| | ○BCP235 ○BCP325 | | | | | | |
| 熱間成形角形鋼管 | ○SHC400B ○SHC400C | | | | | | |
| | ○SHC490B ○SHC490C | | | | | | |
| 一般構造用炭素鋼管 | ○STK400 ○STK490 | | | | | | |
| 一般構造用軽量形鋼 | ○SSC400 ○ | | | | | | |
- 7-2 高力ボルト
- | 高 力 ボ ル ト の 種 類 | 使用 箇 所 |
|-----------------|-----------------------|
| トルシア形高力ボルト | ○ F10T 全般 |
| JIS形高力ボルト | ○ F10T トルシア形が使用できない部分 |
| 溶融亜鉛メッキ高力ボルト | ○ F8T 母材が亜鉛メッキされている部分 |
- 7-3 普通ボルト、アンカーボルト
- 材質 ○SS400 ○SS490 (M 以上)
○ABR400 ○ABR490 ○ABM400 ○ABM490 (ABMはM24以上)
 - 大臣認定柱脚(メーカー仕様による) ○使用する ○使用しない
- 7-4 頭付きスタッド
- | 径 | 長 さ (mm) | 使用 箇 所 |
|-----|-----------------------|--------|
| 16φ | ○ 80 ○100 ○120 ○150 ○ | |
| 19φ | ○ 80 ○100 ○120 ○150 ○ | |
| 22φ | ○100 ○120 ○150 ○ | |
- 7-5 溶接材料
- アーク溶接に使用する溶接棒、ワイヤ及びフラックスは母材の種類、寸法、及び溶接条件に相応したものを選定する。
 - ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相応したものとする。
- 7-6 スクラップ形状 * スクラップ工法 ○ ノンスクラップ工法
- 7-7 継手
- | | 柱 | 梁 |
|------|--------------|---------------|
| フランジ | ○高力ボルト ○現場溶接 | * 高力ボルト ○現場溶接 |
| ウェブ | ○高力ボルト ○現場溶接 | * 高力ボルト ○現場溶接 |

- 7-8 溶接手法及び管理
使用する溶接ワイヤー、入熱量及びバス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。
- 7-9 デッキプレート (単位mm)
- 床用 高さ ○ 板厚 ○
 - 合成スラブ用 高さ ○ 板厚 ○
 - 型枠用 高さ ○ 板厚 ○ 形版 タイプ
 - 防錆処理 ○プライマー ○亜鉛メッキ ○Z12 ○Z27
- 7-1 錆止め塗装(工場塗 * 2回 ○1回、現場タッチアップ程度とする)
- 素地こしらえ * ケレン ○ プラスト
 - 錆止め塗料
- | 適用 | 塗 料 | 種 別 | 標準膜厚 | |
|-----|--------------|----------|------|---------|
| * * | 鉛、クロムフリー錆び止め | JISK5674 | 35μm | |
| ○ ○ | 一般用錆止めペイント | JISK5621 | | ○1種 ○2種 |
| ○ ○ | 鉛丹錆止めペイント | JISK5622 | | ○1種 ○2種 |
- 3) 溶融亜鉛メッキ ○ 行う ○ 行わない
- 7-11 溶接部の検査(受入検査) * 行う ○ 行わない
- 受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者(元請)との直接契約による。
 - 第三者検査機関は(社)日本溶接協会によるCIW検査事業者認定種別における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。
 - 受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。
 - 外観検査の合格判定は国土交通省告示1464号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「JASS6 鉄骨工事 2007 付則6. 鉄骨精度検査基準」の限界許容差による。
 - 超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規程・同解説」2008により、合否判定は7. 2. 1疲労を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。
 - 溶接箇所数の数え方は「JASS6 鉄骨工事 2007」表5. 1溶接箇所数の数え方による。
 - 受入検査の抜取り方法及び抜取り率は以下による。
 - 工場溶接の場合
 - 検査ロットは各節、各工区毎に溶接箇所300箇所以内で構成する。
 - 抜取り数は各ロット毎に30箇所をランダムにサンプリングする。
 - サンプリングの結果、不合格率が5%以内の場合はロットを合格とし、不合格率が5%を超えた場合は更に同一ロットの中から30箇所をサンプリングし、合計60箇所の不合格率が5%以内の場合を合格とする。不合格率が5%を超えた場合は残り全数の検査を行う。
 - 現場溶接の場合
 - 全数検査とする。
 - 検査により不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならねばならない。
 - ずれ、食い違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所監修「突き合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」等を参考にする。

- §8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板・PCa板工事
- 8-1 コンクリートブロック
- 種類 ○ A種 ○ B種 ○ C種
 - 厚さ mm ○ 100 ○ 120 ○ 150 ○ 190
- 8-2 ALCパネル
- 使用箇所 ○ 床 ○ 屋根 ○ 外壁 ○ 内壁
 - 厚さ mm ○ 75(80) ○ 100 ○ 120 ○ 150 ○ 175
 - 外壁取り付け構法
- | 方 向 | 構 法 | 使用 箇 所 | 備 考 |
|-----|-------------|--------|-----|
| 縦 | ○ スライド構法 | | |
| | ○ ロッキング構法 | 外壁 | |
| 横 | ○ カーブプレート構法 | | |
| | ○ ボルト止め構法 | | |
- 8-3 押出成形セメント板
- 外壁取付構法及び厚さ mm ○ ○
- | 方 向 | 構 法 | 使用 箇 所 | 備 考 |
|-----|---------|--------|-----|
| 縦 | ロッキング構法 | | |
| | スライド構法 | | |
- 8-4 PCa板
- 床及び屋根 ○ 床 ○ 屋根
 - PCa板単独 厚さmm ○ ○
 - 合成板
- | PCa板厚さ mm | 現場打厚さ mm | 合計厚さ mm | 備 考 |
|-----------|----------|---------|-----|
| | | | |
- 外壁 厚さ mm ○ ○

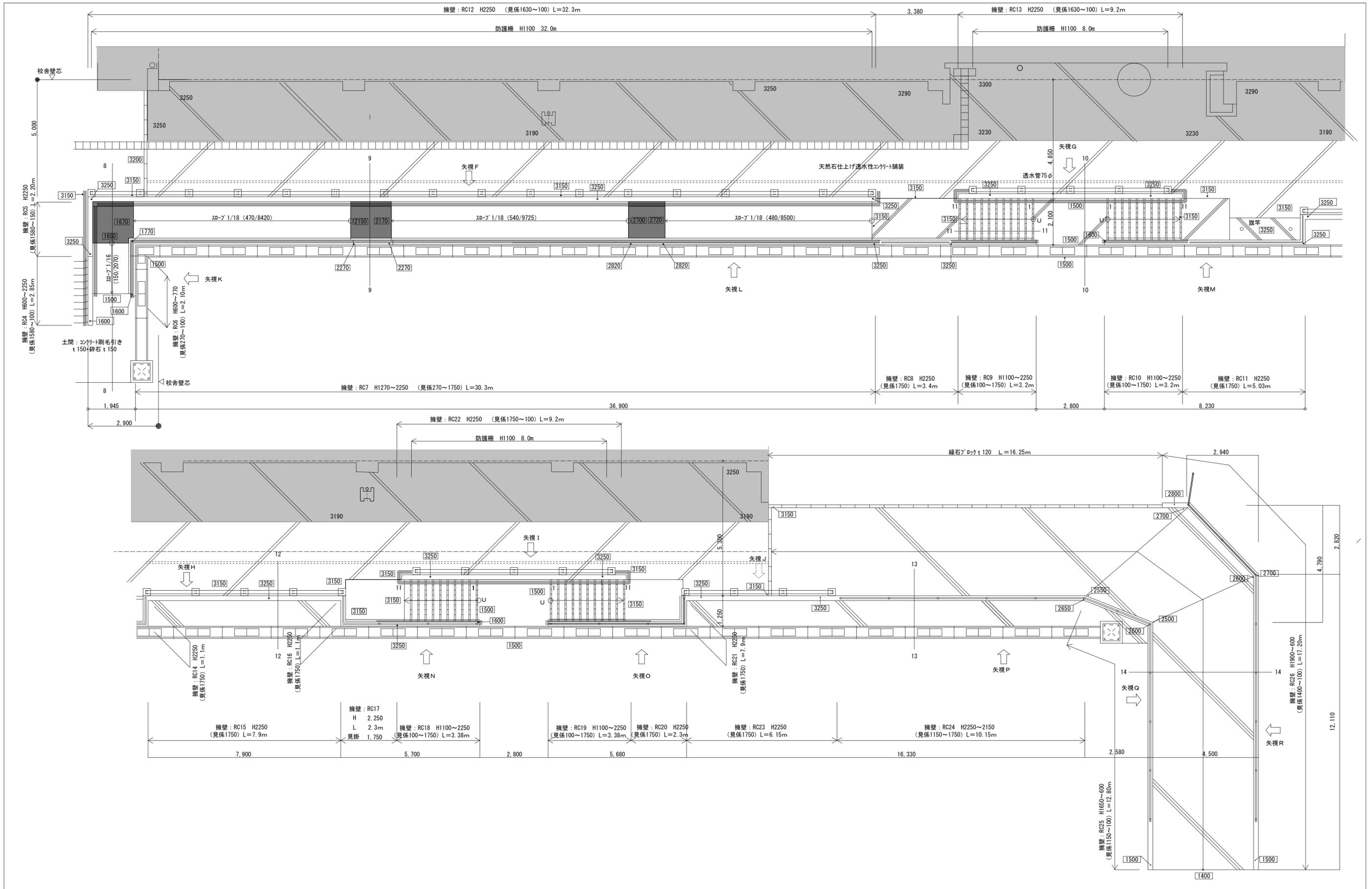
TITLE	ARTICLE	REVISION	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
新居小学校 運動場整備工事				構造特記仕様書	2019.08		G-4
ORIGINAL NO							



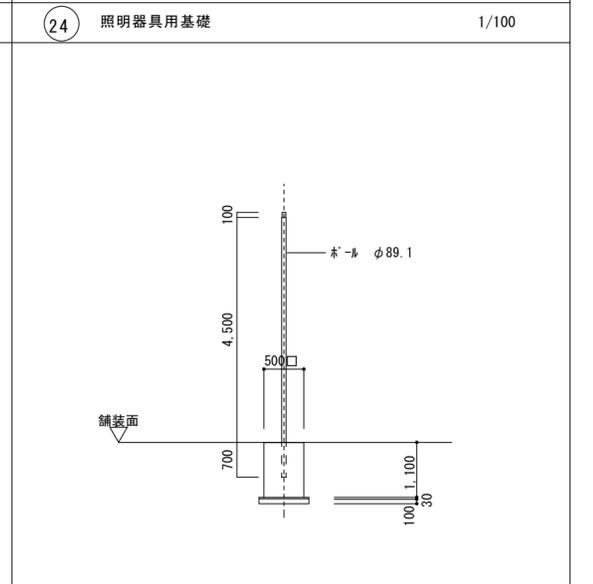
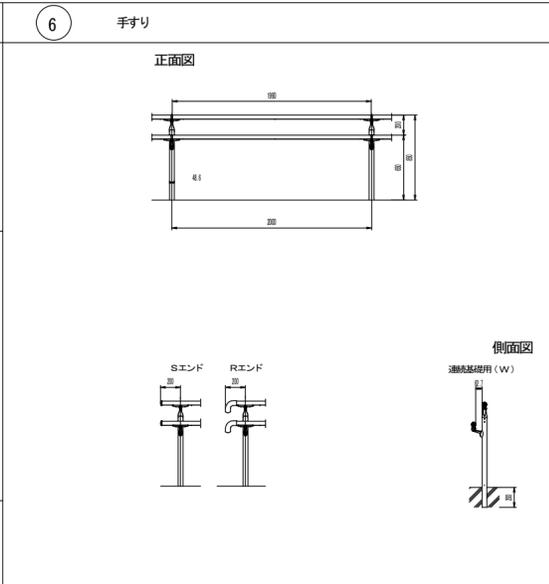
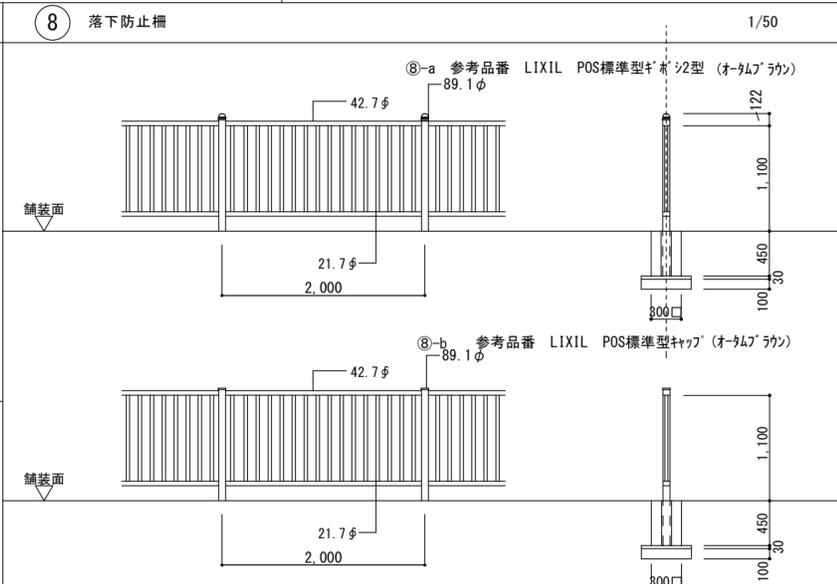
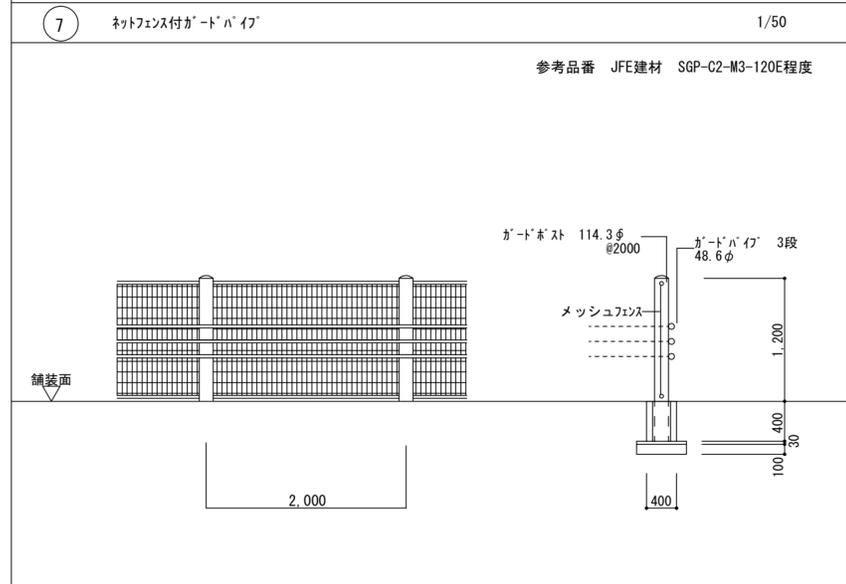
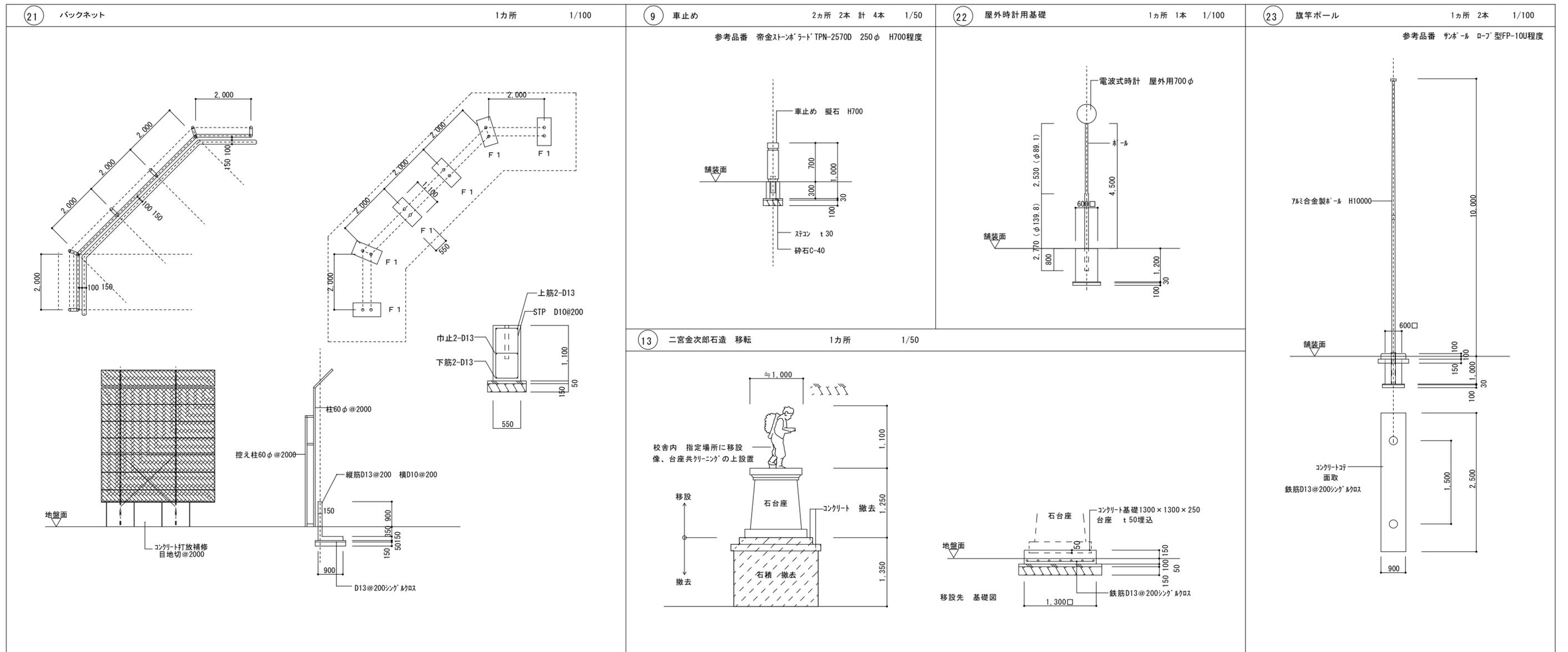
配置図 S=1/300

TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
新居小学校 運動場整備工事						2019.08	S=1/300 (A2)	G-6
ORIGINAL NO								

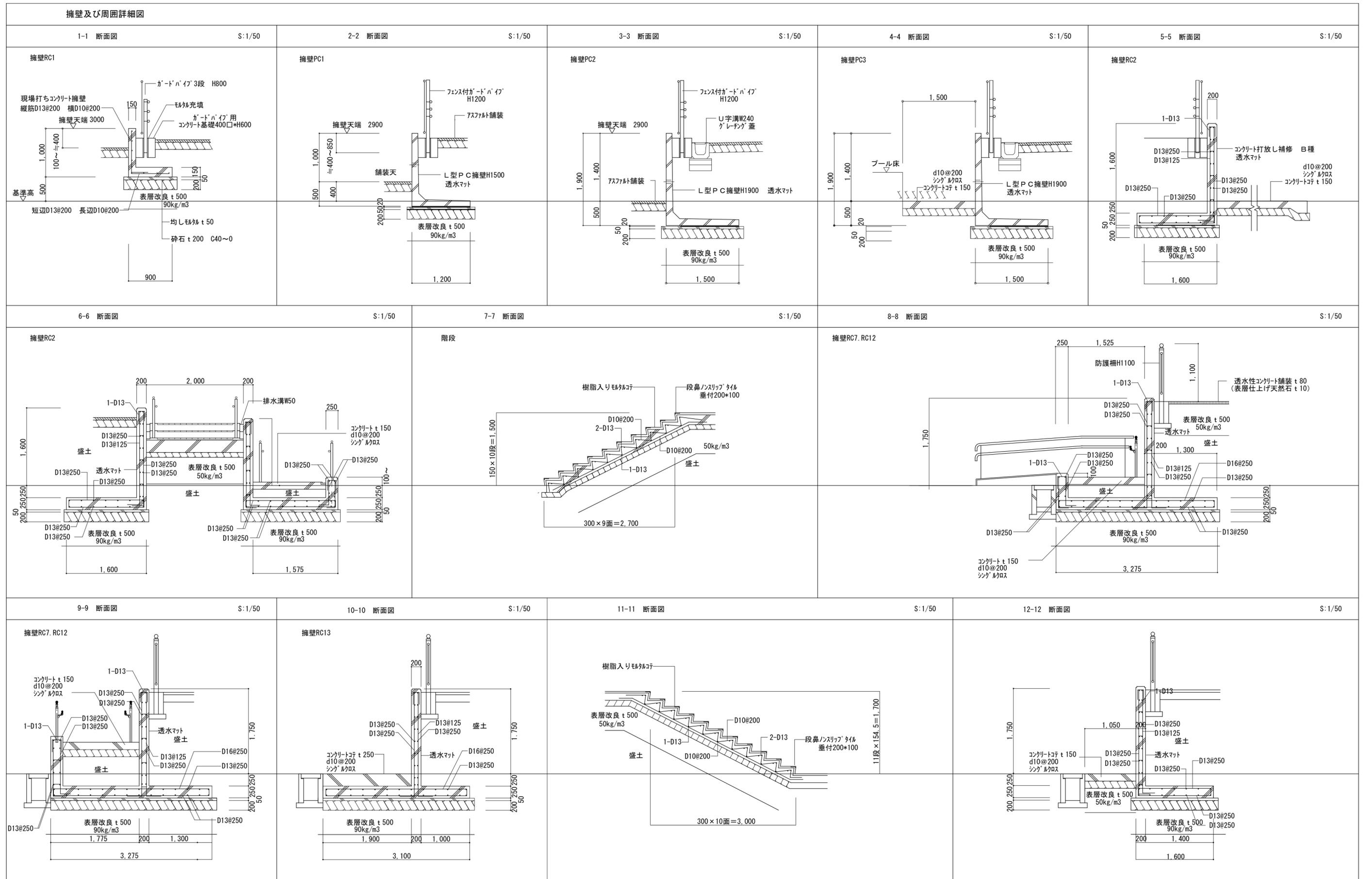
仮設計画図



TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
新居小学校 運動場整備工事						2019.08	S=1/100 (A2)	G-10
ORIGINAL NO					平面図2			



TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
新居小学校 運動場整備工事						2019.08	S=1/50・100 (A2)	G-11
ORIGINAL NO					部分詳細図1			



TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
新居小学校 運動場整備工事						2019.08	S=1/50 (A2)	G-12
ORIGINAL NO					部分詳細図2			

擁壁及び周囲詳細図

13-13 断面図

S:1/50

14-14 断面図

S:1/50

擁壁RC24

擁壁RC25、RC26

擁壁設計条件

地耐力 100kN/m²

背面土の単位体積重量 17kN/m³

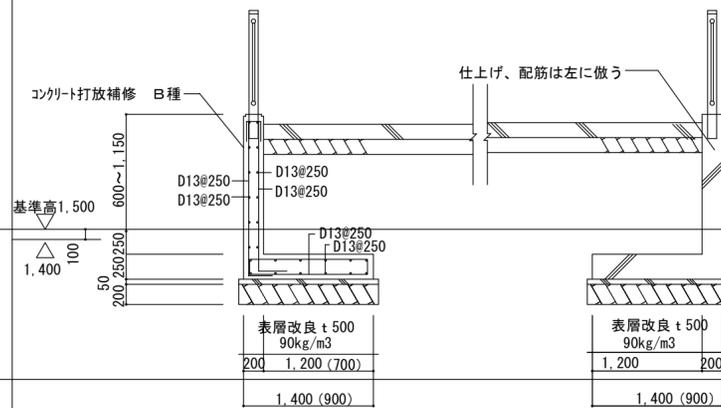
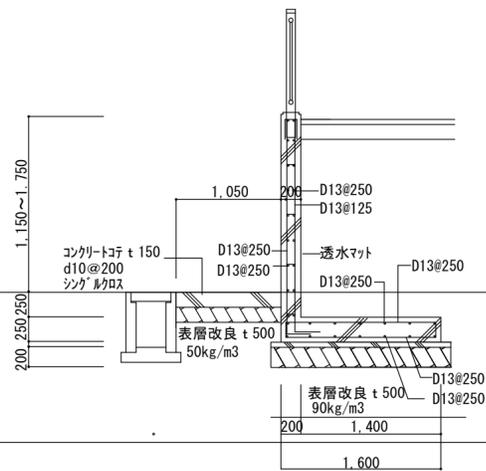
内部摩擦角 ϕ 25° 以上

コンクリートの単位体積重量 24kN/m³

コンクリートの設計基準強度 24kN/mm²

鉄筋の降伏点 295N/mm²

地表面載荷重 10kN/m²



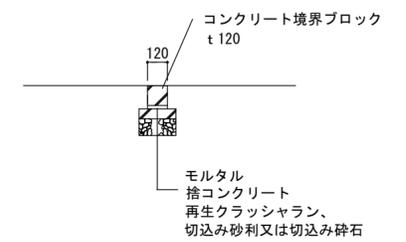
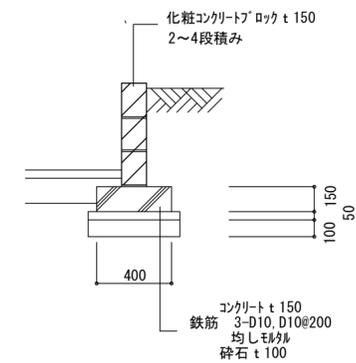
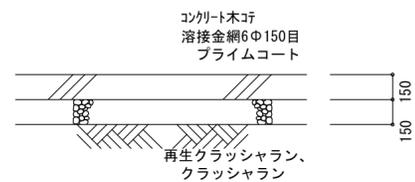
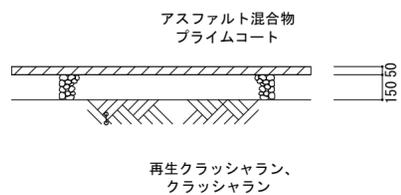
アスファルト舗装

コンクリート舗装

透水性コンクリート舗装

化粧コンクリートブロック積

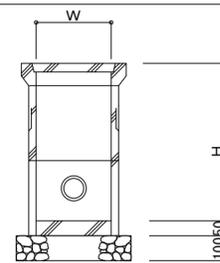
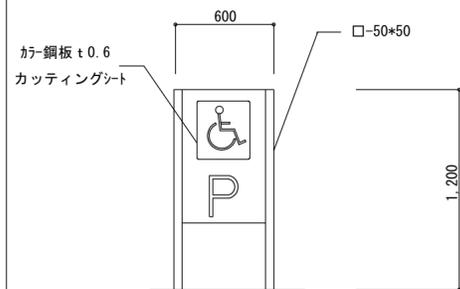
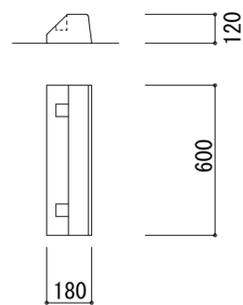
緑石ブロック



車止め

車椅子用P看板

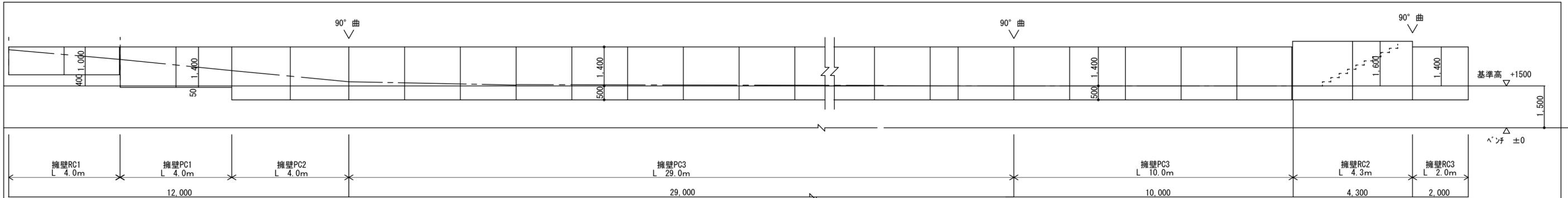
雨水樹



名称	W	H	泥溜
樹1	450	400	150
樹2	450	450	150
樹3	450	550	150
樹4・樹6	450	750	150
樹5・樹7	300	450	150
樹8	300	850	150

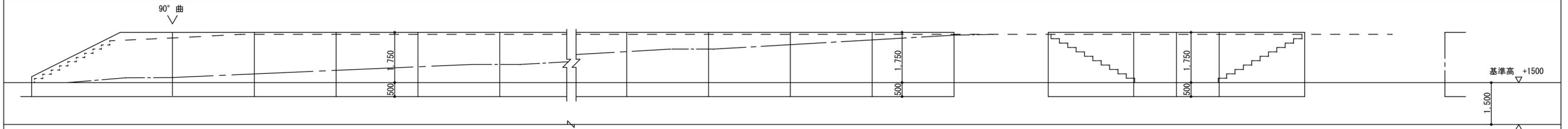
※寸法は参考とし、メーカーサイズとする。

TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
新居小学校 運動場整備工事						2019.08	S=1/50 (A2)	G-13
ORIGINAL NO					部分詳細図3			



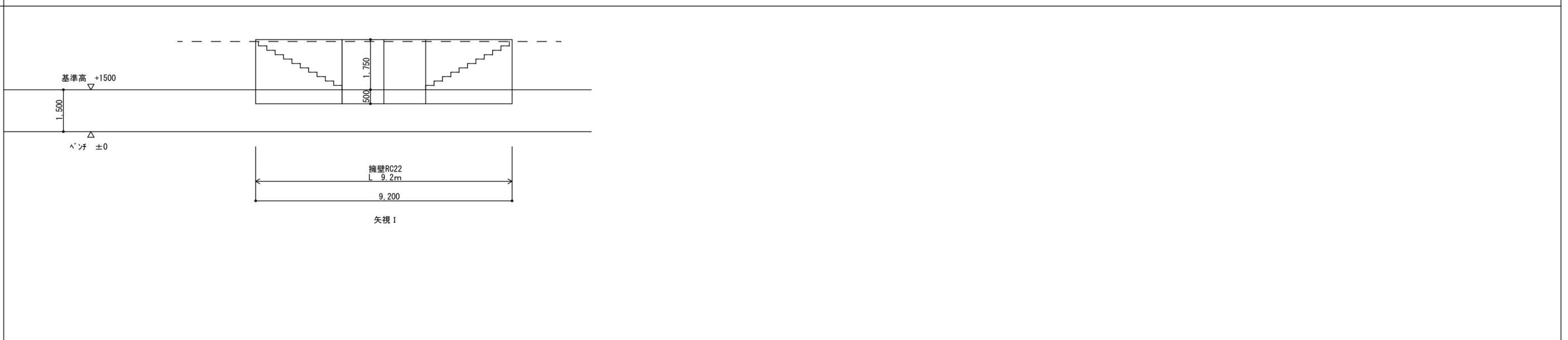
擁壁RC1 L 4.0m 擁壁PC1 L 4.0m 擁壁PC2 L 4.0m 擁壁PC3 L 29.0m 擁壁PC3 L 10.0m 擁壁RC2 L 4.3m 擁壁RC3 L 2.0m
 12.000 29.000 10.000 4.300 2.000

矢視 E 矢視 A 矢視 B 矢視 C 矢視 D

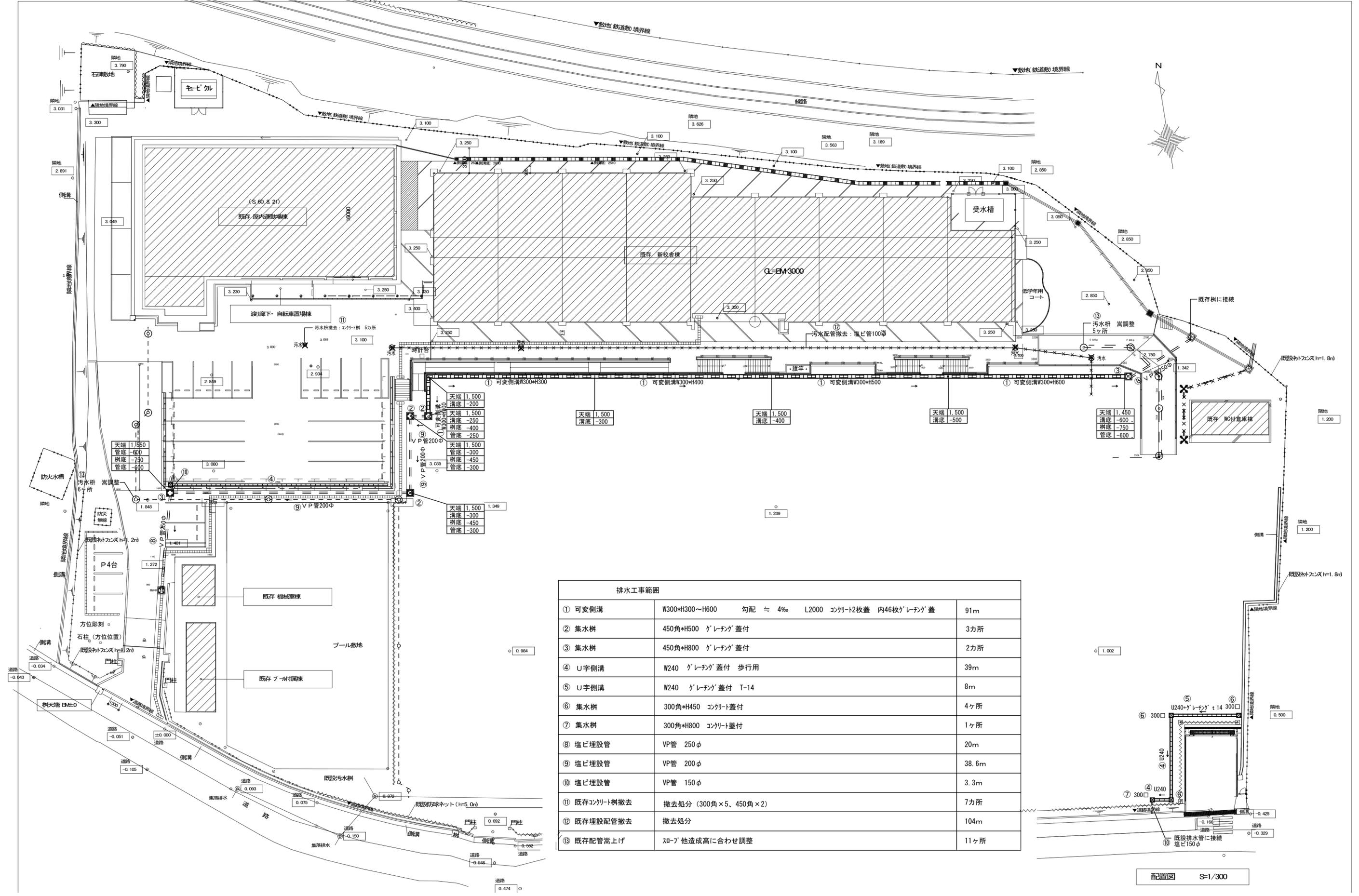


擁壁RC4 L 2.85m 擁壁RC5 L 2.2m 擁壁RC12 L 32.3m 擁壁RC13 L 9.2m (擁壁RC11の内面迄の寸法)
 5.050 32.300 3.380 9.200 4.780

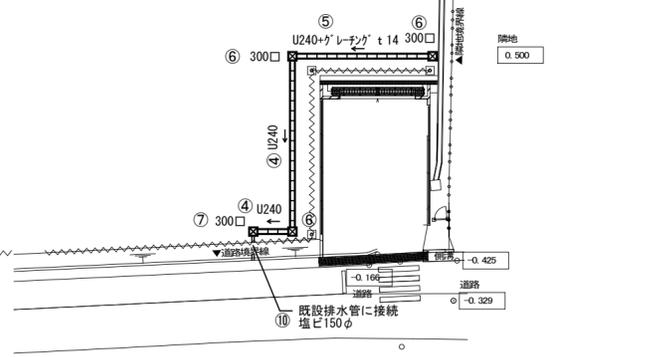
矢視 E 矢視 F 矢視 G



TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
新居小学校 運動場整備工事					擁壁見掛図	2019.08	S=1/100 (A2)	G-14
ORIGINAL NO								



排水工事範囲			
① 可変側溝	W300×H300~H600	勾配 ≒ 4% L2000 コンクリート2枚蓋 内46枚「レーン」蓋	91m
② 集水樹	450角×H500	「レーン」蓋付	3カ所
③ 集水樹	450角×H800	「レーン」蓋付	2カ所
④ U字側溝	W240	「レーン」蓋付 歩行用	39m
⑤ U字側溝	W240	「レーン」蓋付 T-14	8m
⑥ 集水樹	300角×H450	コンクリート蓋付	4ヶ所
⑦ 集水樹	300角×H800	コンクリート蓋付	1ヶ所
⑧ 塩ビ埋設管	VP管 250φ		20m
⑨ 塩ビ埋設管	VP管 200φ		38.6m
⑩ 塩ビ埋設管	VP管 150φ		3.3m
⑪ 既存コンクリート樹撤去	撤去処分 (300角×5、450角×2)		7カ所
⑫ 既存埋設配管撤去	撤去処分		104m
⑬ 既存配管嵩上げ	スロ-プ他造成高に合わせ調整		11ヶ所



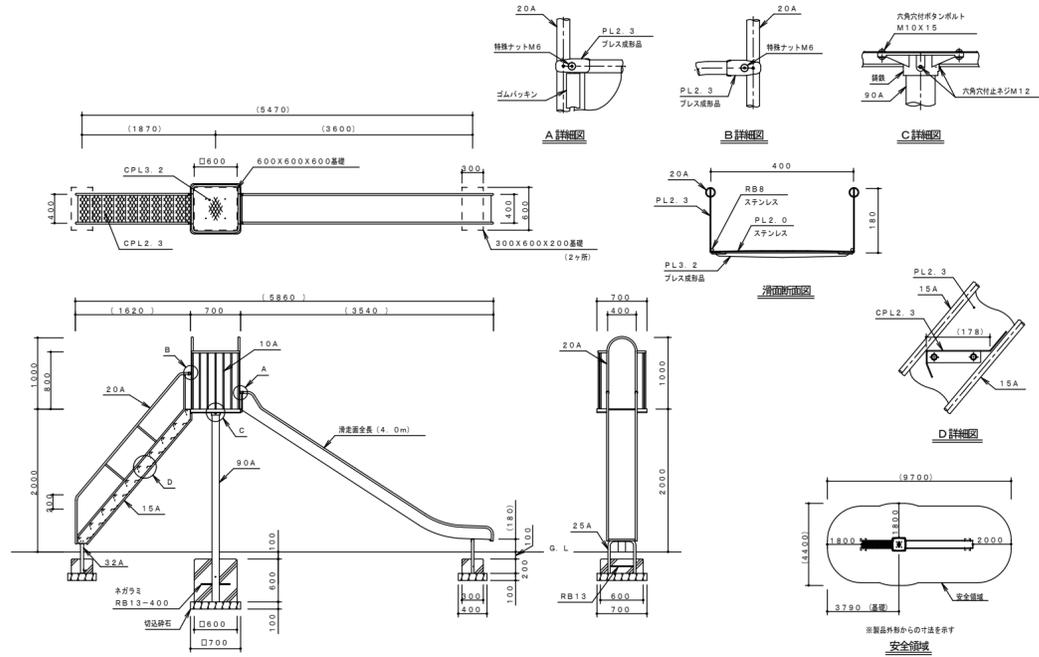
配管配置図 S-1/300

TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
新居小学校 運動場整備工事						2019.08	S-1/300 (A2)	G-16
ORIGINAL NO								

大一流型すべり台(ステンレス張)

1台

参考品番:日都産業 SL-86

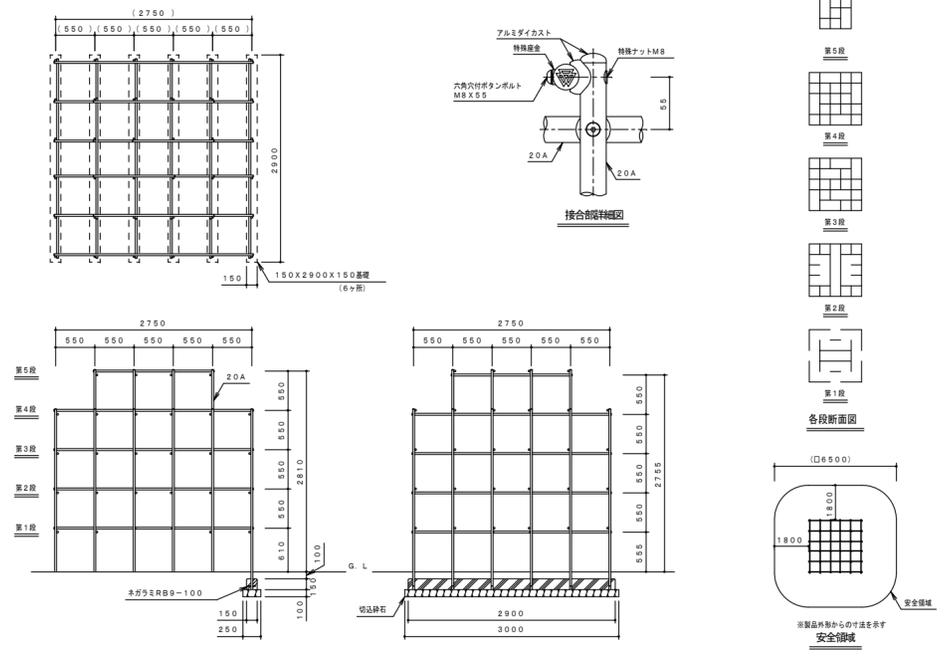


製 品 仕 様	鋼管・鋼材は、電気亜鉛メッキ処理(地際部の鋼管は20φ以上)後、アクリル積付塗装とする(基礎部品は除く)。	主	10A	外径17.3	肉厚	2.3
	ボルト・ナットは、電気亜鉛メッキ処理とする。	主	15A	外径21.7	肉厚	2.8
	利用対象年齢は、幼児(3才~6才)・児童(6才~12才)とする。	要	20A	外径27.2	肉厚	2.3
	ISO9001・ISO14001の認証取得企業で品質管理された製品とし、(一社)日本公園施設業協会の賠償責任保険付とする。本製品は、遊具の安全に関する規格JPF A-S-P-S:2014に準拠した製品とする。	鋼	25A	外径34.0	肉厚	3.2
		鋼	32A	外径42.7	肉厚	3.5
	鋼	90A	外径101.6	肉厚	4.2	

ジャングルジム

1台

参考品番:日都産業 JG-01

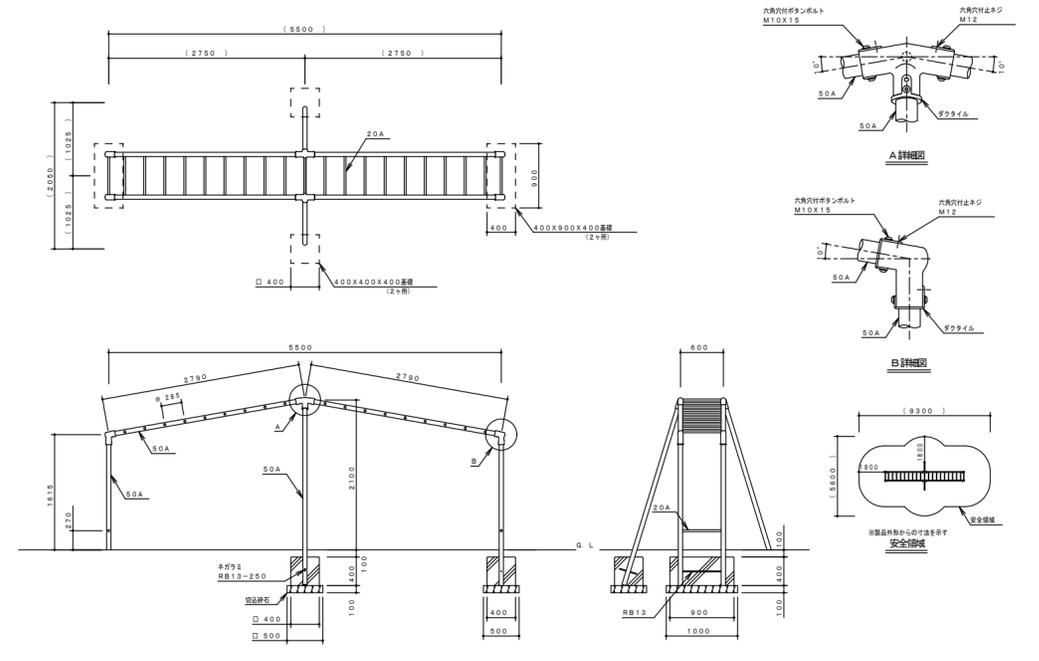


製 品 仕 様	鋼管は、溶融亜鉛メッキ・トップコート処理後、アクリル積付塗装とする(基礎部品は除く)。	主	20A	外径27.2	肉厚	2.8
	ボルト・ナットは、電気亜鉛メッキ処理とする。	要				
	利用対象年齢は、児童(6才~12才)とする。	鋼				
	ISO9001・ISO14001の認証取得企業で品質管理された製品とし、(一社)日本公園施設業協会の賠償責任保険付とする。本製品は、遊具の安全に関する規格JPF A-S-P-S:2014に準拠した製品とする。	鋼				
		鋼				

山型雲梯

1台

参考品番:日都産業 LA-01

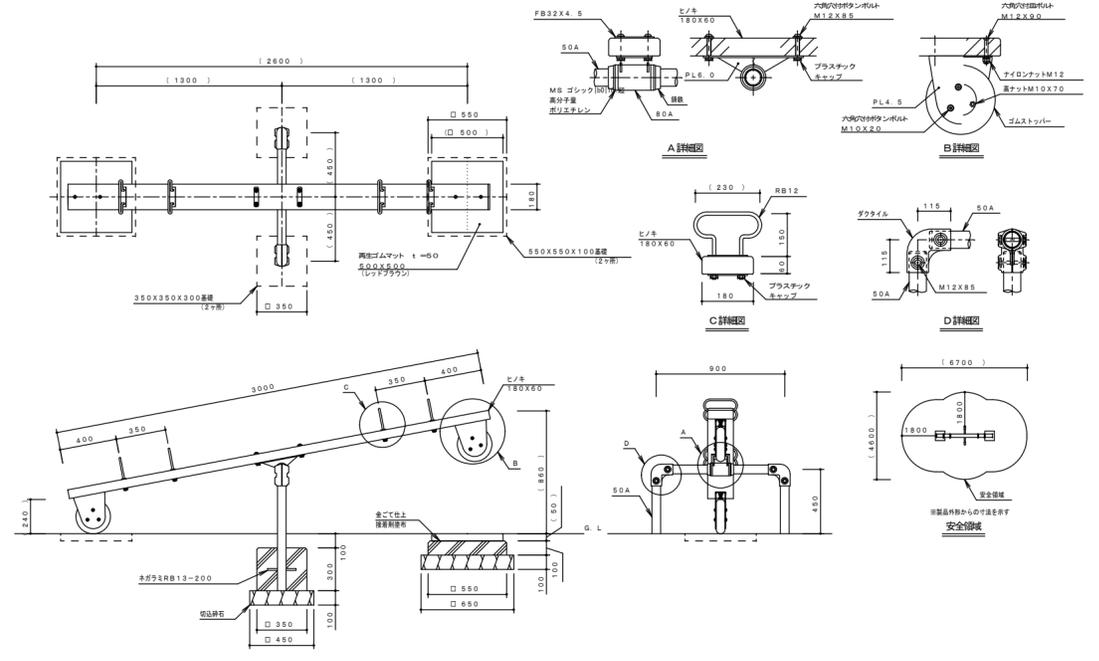


製 品 仕 様	鋼管・鋼材は、電気亜鉛メッキ処理(地際部の鋼管は20φ以上)後、アクリル積付塗装とする(基礎部品は除く)。	主	20A	外径27.2	肉厚	2.8
	ボルト・ナットは、電気亜鉛メッキ処理とする。	主	50A	外径60.5	肉厚	3.8
	利用対象年齢は、児童(6才~12才)とする。	要				
	ISO9001・ISO14001の認証取得企業で品質管理された製品とし、(一社)日本公園施設業協会の賠償責任保険付とする。本製品は、遊具の安全に関する規格JPF A-S-P-S:2014に準拠した製品とする。	鋼				
		鋼				

単列シーソー(ゴムマット付)

1台

参考品番:日都産業 SE-06



製 品 仕 様	鋼管・鋼材(50A)は、溶融亜鉛メッキ・トップコート処理後、アクリル積付塗装とする。	主	50A	外径60.5	肉厚	3.8
	軸受け(80A)・鋼材は、電気亜鉛メッキ処理後、アクリル積付塗装とする(基礎部品は除く)。	主	80A	外径89.1	肉厚	4.2
	ボルト・ナットは、電気亜鉛メッキ処理とする。	要				
	利用対象年齢は、児童(6才~12才)とする。	鋼				
	ISO9001・ISO14001の認証取得企業で品質管理された製品とし、(一社)日本公園施設業協会の賠償責任保険付とする。本製品は、遊具の安全に関する規格JPF A-S-P-S:2014に準拠した製品とする。	鋼				

TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
新居小学校 運動場整備工事					新設 遊具リスト・姿図 1	2019.08		G-17
ORIGINAL NO								

